

耳を傾けてみませんか！
若者の夢・未来へのメッセージ

発表を聞いて

中学生



意見発表を聞いて、どんなことがあっても前を向いて生きることの大切さがわかりました。様々な苦しいことを経験してその時は自分を見失いそうになるけれども、そこでくじけないで今自分は何をすればよいのかを真剣に考えて乗り越えていく。そんな力強い発表に感動しました。今日学んだことをこれからの生活に生かしていきます。

教員



各校の代表の皆さんの様々な思いに触れたことは、指導者である私にとっても大きな学びとなりました。中学生らしい視点で訴えられた内容への深い共感や新たな気づきがありました。「人との関わりを大切にする」こと、そして「自分の思いを相手に伝える」ことを通して人はこんなにも成長するのだということを改めて強く感じました。

来場者



中学生という人生でも一番多感な時期の皆さんのまわりに対する気遣いや生に対する思いを聞いて心が洗われる気がしました。毎日を何気なく過ごしてきた自分が恥ずかしくなりました。障害を持った子どもさんが力強く精一杯生きている姿に感動しました。前向きでたくましい発表を聞いて、中学生の皆さんにこれからの社会を託したいと思いました。

昨年の県大会



「少年の主張発表大会」とは

本県では、昭和46年、塩谷地区青少年育成連絡協議会が開催した「少年の意見発表大会」が始まりです。第1回の県大会は昭和53年に開催されました。現在の県大会には県内8地区の代表16名が参加し、最優秀賞受賞者は全国大会に推薦されます。昨年の栃木県の参加中学生総数は19,235名でした。

全国大会は、第1回が昭和54年に国際児童年の記念行事として開催されました。昨年の全国の参加中学生総数は555,559名で、全国大会当日は各都道府県代表が参加し、その中からブロック審査で選ばれた12名が発表しました。



家庭の日

毎月第3日曜日はふれあい育む「家庭の日」



とちぎ県民カレッジ講座
<http://www.tochigi-edu.ed.jp/rainbow-net/>